

絹文化継承プロジェクトに参加 カイコの飼育開始（3回目）

絹文化継承プロジェクト（群馬県庁世界遺産課事業）

小学生に、養蚕・製糸・織物の絹産業や絹文化に触れてもらうため、学校でカイコを育て、そのカイコが作った繭からできた生糸を利用した絹布で校旗を作成する「絹文化継承プロジェクト」を実施

今年も6月初めに5cm位のカイコが四小に届きました。約1ヶ月カイコの飼育を行い、無事にたくさんの繭になりました。今年でプロジェクト参加は3回目です。餌やりは昆虫の学習をしている3年生が中心となって行い、全校で観察をしたり、繭取りをしたりしました。今年も大変貴重な体験ができました。



カイコの勉強をする3年生
休みに時間に巡回指導の先生から、カイコの飼育の仕方やカイコの一生について学びました。



7月1日全校で繭を
まぶしから取り出しました。
今年は全部で660個の繭がで
きました。この後、660個の繭を県
にお返しし、絹織物の校旗を作っ
ていただきます。



平成30年度プロジェクト
参加でいただいた校旗



座繰り体験をする4年生
本校では繭から糸を紡ぐ座繰り体
験も行っています。

カイコ→繭→生糸→絹織物
このつながりも学習しています。

